

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
1	アドバイザー	<p>アドバイザーとして最初に、2点ほどお願いをさせていただきたいと思う。</p> <p>この会議の目的は、数字だけではわからない部分を、現場の先生方を入れ、県民のため、住民のために丁寧に議論をするということが目的になっているかと思う。この会議に許可の権限があるとかないとかではなく、県民、住民のために、ぜひ丁寧な議論をお願いしたいと思う。</p> <p>もう一つ、これも、皆様方よくご存知のことだが、民間病院と自治体病院は役割が違う。そのために、自治体はどう協力体制を作っていくかというのが非常に重要で、そのために、皆様方で頑張ってもらっていると理解させていただいている。</p> <p>済生会熊本病院さんという病院があり、日本で一番収益性が高いと言われているが、院長にお話を聞くと、我々の病院だけでできることではない、という返事が返ってくる。民間病院は、不採算部門を切り捨てたり、担わないで済ますこともできる。ただ、それは勝手に担わないでいる、という訳ではなく、不採算部門を担う自治体病院があるため、担わないで収益性を高めていくことができる。不採算部門を担ってくれている自治体病院との協力関係が極めて大切だ、という話をお伺いする。</p> <p>また、いろんな病院に講演に行かせていただくが、その時には必ず病院に向かうタクシーの中で、行く先の病院の評判を聞くことにしている。ある東北の県立病院さんに講演に呼ばれた時だが、タクシーの運転手さんが言われたのは、マスコミはこの病院は何億の赤字だと騒ぐけれども、我々市民は、この病院のために税金を使ってもらって全く構わない。道路工事が減ってでも、この病院にお金をかけて欲しい。この病院が大切だと思っている、という話を聞いたことがある。これはあくまでも個人の意見で別の意見も当然あるかと思うが、おそらくその病院さんは素晴らしい病院で、すばらしい医療を行っているのだと思っている。</p> <p>岐阜県では素晴らしい医療を行っている先生方が大変多くみえると思われる。今後もそれを守っていくために、地域としてどこに力を入れるべきなのか、という議論をいただいているのだと思う。今日もそういった議論がいただけるのだと思うが、いずれの結論になるとしても、自治体主導で、民間病院と自治体病院のより強い連携を進めていくということが不可欠だと思っている。</p> <p>ぜひそういった観点から、民間病院と自治体病院がどうやって上手く連携していくのか、という議論を、今日お願いできればと思っている。</p> <p>以上二つ、アドバイザーとしてお願いをさせていただくということで、活発なご議論をお願いできればと思っている。</p>	
2	議題1	<p>資料4のNo5の回答だが、中津川市民病院にある休床病床44床と坂下診療所の19床は、新病院の76床の中に含まれるという考え方。中津川市民病院を減床、病床数を減らして、今回の坂下の方に充てる、という理解でよいのか。旧坂下病院を診療所化し、そこにあった機能を中津川市民病院に集約するという話で進んできたと思うが、その集約して進んできた話がまた一部切り離し、坂下に戻すというような回答だが。</p>	<p>中津川市民病院は今現在360床あるが、そのうち44床が休床となっているので、この44床を返上して坂下の民営化病院の方へ付け替えるという考え。現在、その44床については、一般病床扱いで、それを回復期に転換するという考えである。資料3のNo5に同様の質問があり、回答をさせていただいている。（中津川市）</p>
3	議題1	<p>明日、中津川市民病院で大きい会議が予定をされている。今日の調整会議の結果がいろんなものへ影響を与えるということで、いろいろと質問をしたいことがあったが、中津川市から、中津川市や純正会に対して質問をするな、という指示が出ている。この場で私が質問することができない。</p> <p>先週、医療法人純正会に質問をする場を設けていただく予定だったが、当日になって純正会から都合が悪いということで、質問をさせていただく機会はなくなった。</p> <p>この調整会議が質問するチャンスだと考えていたが、先ほど中津川市病院事業部に確認したところ、それでもこの調整会議で質問する許可をしていないということだった。（中津川市民病院）</p>	<p>質問していただいて良い。（中津川市）</p>
4	議題1	<p>質問をしないように、という指示のままで、質問の許可が出ていないということを、先ほど言われた。私はこの場で質問をすることができるという状況ではない。（中津川市民病院）</p>	

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
5	議題1	この調整会議は、病院、自治体、それから市民など、そういった皆様で、これからのより良い医療を行うためにどうするか、という話をする場だと先ほどアドバイザーからもあった。皆様でしっかり議論をするということである。（中津川市）どうなのか。	中津川市民病院長が発言されたことに関しては、この会議で質問することは自由、ということになるが、院長も市長を頂点とする中津川市の組織の一部ということで、市長とも面談されている中で、もしそういう質問があれば、この会議の前に、事前に潰していくということで、本来、市の中の政策であるので、純正会に時間を取っていただき、そういう場を持つとした訳だが、ちょっとそのタイミングが計れなかった。基本的には質問というのは、さきほど言ったように、最終的に駄目だということと言わない、ということだが、市の中でやっていることなので、院長も含めて、市の中で疑問点を外部ではなくて内部的に処理していただきたい、という市長の思いがあったことで、そういう表現になったというふうに理解している。（中津川市）
6	議題1	中津川市民病院の意見を中津川市役所は十分心得ておられるのか。その辺の代弁するなり、質問をしていい範囲内は答えていただかないと、この会議は成立しない。	院長が純正会に対し質問がしたいと、純正会に伝えましたら、質問期間が取ってあった。資料4がその追加質問ということだが、その追加質問に対し院長から具体的な質問はなく、質問としてはこの会議の資料4に載ってくるべきだろうと思っていた。質問があるということであれば、質問してください、という回答で終わっていると理解している。質問をするなどということではなく、質問をしてくださいという理解である。ただ市として一緒なので、市の中でそういう疑問点を払拭していく動きをして欲しい、というのは市長からの伝言であったことは事実である。（中津川市）
7	議題1	地方だけではなく、全国的にも問題となっている医師不足。その医師不足がゆえに、坂下病院はこんな事態に陥ったというのが中津川市からの報告だが、今度、民間の新しい病院ができれば解消できるのか、という質問に対する回答がない。民間に移譲することによって解消できる、という回答がない。そこをきちんとしてほしい。同じ状態が起きるのは間違いない。坂下病院がそんな状態になってしまい、今ここで議論をしている。この状況がどういった原因で起こったのか。中津川市としては、医師不足だと言っているが、新病院では、どのように変えて出来るようにしていくのか。医師不足のままではいけない。市民に対して裏切りだと思う。そこを教えてください。	以前から、坂下診療所においては医師の配置が難しい、ということで医療提供体制を縮小してきたという話をいただいている。現状、候補者ということで、具体的に誰々先生という話はできないが、坂下診療所が病院ということになると、医師の配置として最低8名ほど。その中で、現状、診療所でお勤めいただいている先生方もいらっしゃるが、当然数としては足りないので、医療法人純正会のグループの中で、医師を再配置していくということは当然のことながら、新たな採用を含め、必要数を整えていく、ということ考えている。最低限は揃えながら、より充実した医療提供体制を（目指して）全国から集めていくということ考えている。大学への働きかけの中での医局派遣に限らず、広く一般公募も含め、医師の皆様方にお集まりいただき、必要な医師の配置を具体的に取り組んで行くので、ご安心していただきたいと思っている。（医療法人純正会）
8	議題1	運営できるということでよいか。確実に。	はい。（医療法人純正会）
9	議題1	医師不足のために、経営が不可能、撤退する、ということになると、中津川市民に対しての裏切りになると思うので、そこをしっかりとらわれないと。この会議に出席した委員は、中津川市民に申し訳ないということになってしまう。口約束では困るが、どうか。	もちろんできる。（医療法人純正会）

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
10	議題1	医療法人純正会は、名古屋で今まで医師不足の経験はあったか。	何度もあった。医師不足で廃業を余儀なくされそうになった病院の事業譲渡等をこの40年近くの法人の歴史の中でやってきている。岐阜の地が新たなチャレンジの部分も当然あるが、やはりそこに医療を必要とされる患者様、地域の住民の方がいらっしゃる以上、我々としても、精一杯、医療をされる職員の皆様を整え、もちろん地域の先生方、それから看護師をはじめとするスタッフの皆様方の様々な連携もさせていただきながら、しっかりと支えていく医療を考えていきたいと思っている。決して口だけで、この場を言い逃れようというわけではない。（医療法人純正会）
11	議題1	看護師も同じ。岐阜で今度新しく、2つの病院が1つになるが、その周辺の病院の看護師が減ってしまい、どうも新病院に行っているらしいという話を聞く。今度ここに純正会が来られたときに、周りには絶対迷惑をかけないと言われても、多分、看護師が動くのは止められない。人の動きというのは止められないし、いろんな事情が起こってくる。純正会の名古屋の病院から坂下にと言われても、来ることができるのかと。医療資源が乏しいところで、新しい病院ができ上がると必ず周りは大変だと思う。まわりの先生方と上手くいくシステムづくりができるかどうか、ちょっと心配している。いろんな病院の先生からの質問に何回も出てくる。皆さん心配している。	まだ許可がおりていないので、正式な募集ができる状況ではないが、計画として、今まで40年近く、医療、介護に携わらせていただいている経験をもとに、様々なツールの中で、職員の方々を集めさせていただくということは当然です。人員配置というルールもあり、そこに必要数を配置していくということは当たり前のこととして考えている。人員が足りないからできませんでした、というようなことはもちろん考えていないが、だからといって近くの医療機関の方に声掛けさせていただき、高い給料を払うので来てくださいと、そのような働きかけは一切行わないということで考えている。そのようなご不安を、地域の先生方に思わせていることに対しては、大変申し訳なく思っている。しっかりと募集をかけさせていただき、ご説明させていただきながら、できる限りこの坂下の地で、前を向いて医療介護に取り組んでいただける職員様を、しっかりと集めていくということで考えている。（医療法人純正会）
12	議題1	例えば最近この辺の大きなスーパーで、オープニングスタッフ時給2000円で採用している。（新病院が）我々の平均賃金より下回った賃金で応募しては人が来ない。賃金が高ければ新病院に行き、同じ賃金では移動しないので新病院の経営は成り立たないのではないかと思う。メディカルスタッフもそうだが、ドクターに関し、純正会の運営している小牧、名古屋、豊田などの都会の病院と、坂下はかなり違う。坂下に行けと言っても、行かない。高い給料を払わないと行かないだろうと思う。今言われたように、公募するから来ます、というようなことは、机上の空論に聞こえる。前回会議で医師会から発言したが、スタッフを抜かれるのは非常に困る。やるのであれば、現状の坂下診療所の病床19床と老健と、あるいは他の介護施設をやっていただき、それではいけないのか、というのが恵那医師会の意見である。	

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
13	議題1	<p>先ほど中津川市病院の44の休床を返上という話があったが、そうだとすると、現状より13床、病床数としては増える。東濃地域で13床増えるという、そのインパクト。人の採用も、医療費の負担という意味でもそうだが、両方の面で保険者としては相応のインパクトがあると捉えている。短期的に患者が増える予想にはなっているが、中長期的には、間違いなく減る。シンプルに言うと、既存のどこかの患者が減るのか、あるいは過剰医療が発生するのか、ということになる。保険者としてはそう考えているが、地域の医療関係者の方はどう考えているのか。ご意見が聞けたらありがたい。</p>	<p>中津川市民病院が一番ウエイトを占めているが、先ほど話されなかった。中津川市民病院から説明がなされないことには。</p> <p>中津川市民病院に先立って話をさせていただくと、2025年30年に向けて、当該地域、中津川市も恵那も、医療のニーズは1%増えるかどうか、ほぼ現状がピークということは明らかである。それに引き換え、介護の需要は12、13%ほど増える、ということが分かっている。それを反映するように、この4、5、6の3か月間の中津川市民病院、恵那病院、城山病院の病床利用率では、中津川市民病院は70%を切っており、恵那病院は60%を切っている。城山病院も80%切っているという状況。ベッドは十分に余っているという状況。回復期が足りないということを言われたが、回復期は75%。恵那病院も50%を切っている。そんな状況である。医療のニーズが1%増えても、十分にカバーができる医療提供体制を持っているものとする。</p> <p>問題としては、高齢化、老々介護や高齢独居という形で、回復期病棟を出るタイミングが難しい。お1人で生活ができなかった方をなかなか出すところがない。前回の会議でも話したが、当該地域に必要なのは医療ではなくやはり介護。あと100床ほど介護施設があると、この地域の高齢化問題は必ず解決する。ただ問題は、この地域の世帯の収入を考えると、グループホームや有料老人ホームは難しい。そうするとやはり特養のような施設で100床あると、この地域の高齢化社会は、乗り切ることができる。今、医療のベッドが増えてもこの後行く先がなくなる。そういう人を増やすだけであると考えている。（恵那医師会）</p>

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
14	議題1	<p>先日、坂下診療所の先生と話をしたが、その中で非常に腹立たしいことがあった。現在、坂下診療所には19床のベッドがある。軽い肺炎、圧迫骨折、透析で入院が必要、そういう方を見たいと言っても市がそうさせてくれない。点滴に至っては1種類しか置かせてもらえない。医者が医療をやろうとしているのにも関わらず、市側がそういう医療を扼している、意欲のある医者の医療に対する姿勢を何故かわからないが扼している。中津川市病院事業部に対する腹立たしさが非常に強かった。そういうところが計画をしているこの新病院、いかがなものかと正直思う。物事というのはどんなに正しいことをしようとしても、そのプロセスが間違っていれば、正しいことも正しくなくなる。この辺りを病院事業部はどう考えているのか。中津川市民病院長の発言にしても同じ。全て話すなど。物事はプロセスである。医療法人純正会も犠牲者ではないかと思う。</p> <p>令和元年に、坂下病院が困っていて19床で何とかする、と決まった。公立病院あり方検討委員会で、医師会長、市民病院長を交えた中で決まった。その後の経過に関してやや不透明なところがあるのは皆様が知っているとおりで、本日の市民病院長の質問を受け付けないようなところに真実があるのではないかと考えている。資料3のNo6の回答。「令和4年10月に地元医師会の会長、副会長に運営事業候補者が純正会になったこと及び提案内容のご説明をさせていただいている。」この前に必要なことがあるのではないかと思う。坂下診療所の状況や詳しい内容を教えていただき、医師会として何とか出来ないか、良い解決がないかどうか、そういうことを市として言ってくるのが筋ではないかと思う。医師会に対して、水面下でこそそそと話があっても、表向きにどうしたらよいか相談する、そういうことはいまだに1度もない。この対応に、医師会として甚だ不満に思っている。坂下診療所の先生も市民病院長も、病院事業部の姿勢を甚だ不満に思っている。そういう中で、この会がうまく行くわけがない。純正会がどれだけ正しいことをしようとしても、そのプロセスが正しくなければ、正しいものも正しくない。そう判断されることをどうして分かっていないのか、ということの前から言ってる。病院事業部と何回か会っているが、あなた方は本当に正しいと思ってやっているのか、と聞いても、一度もはいとは言わない。それが全て。市民病院長が意見を言えないのもそういうことである。そういう中で、この会議が成立すると思っていない。</p>	

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
15	議題1	<p>客観的に今の論議を聞き、あるいは前回の論議の経過を見ると、そもそも医療というのは、当たり前のことだが地元の医師会や市町村など、すべて共同して同じ方向に向かっていくのは当然だと思う。坂下診療所の病院化に関し、医師会は反対している。そして、周りの主要な病院も反対している。にもかかわらず、中津川市と医療法人純正会が、失礼な言い方かもしれないが、強引に、通常理論を飛び越えて、物事を進めようとしているのがすごく奇異に思える。もともと遡れば、透析の先生がいなくなり、何とかして欲しい、という話が多分一番最初だったと思うが、資料4のNo2の従業員の確保をどのように考えているか、という質問に、ちゃんとやりますとは一言も書いていない。先ほど、口頭でやりますと言っていたが、この回答を出した時と今で変わったのか。本当にやれるのであれば、絶対やりますと書けばいい。書いてないにも関わらず、やりますと言っているだけで、一番本質の、そもそも議論が始まったところの話が何も答えられていない。こういった状況において、強引に進めようとするのは、すごくおかしいと思う。</p> <p>もっと嫌なことは、先ほど、中津川市民病院長に質問してはいけない、と市が言ったのか。そんなこと、こういう会議であってよいのかと思う。質問を解決せずに問題が解決するはずがない。質問せずに問題解決しようなんていうのは民主主義でない。この会議のあり方に関しても、中津川の問題なのかもしれないが、非常に第三者的な立場からすると嫌な気持ちで、論議を聞いていた。根本は、市民のための医療である。何とか改善して、考えていただきたいと思う。</p>	
16	議題1	<p>中津川市の考えは今日皆様分かったと思うが、改善する必要があると思う。お帰りになって検討いただきたいと思う。</p>	
17	議題1	<p>資料4のNo6、7、8に質問及び要望をさせていただいているが、医療法人純正会が運営している医療機関は、全て院内処方だと伺っている。坂下診療所の前の薬局や、坂下診療所の処方箋を受けている薬局、それから中津川市と恵中薬剤師会は協調してやってきている。</p> <p>医療法人純正会が坂下診療所を譲渡された場合は、院内処方にするのか、という質問させていただいている。薬局にとっては、院内処方だった場合は閉局になってしまう。とても大変なことなので、回答はいただいているが、もう少し詳しくご説明いただきたい。</p>	<p>医療法人純正会としましては、当然薬剤関係も国の制度によって成り立っているということ前提にした上で、あくまでも患者様を中心とした医療を今まで展開してきた。移動手段が乏しくちょっと面倒くさい、たった10メートル20メートルであっても天候によって移動することが大変など、そういう声を40年近く名古屋、愛知県の医療提供の中でいただき、結果として、職員の皆様の協力もあり、院内処方がある程度大きなウエイトを占めているということが現状にある。ただ、坂下において、入口、それから敷地の一角にも薬局があり、今後、患者様とも向かい合い、様々な意見を頂戴する中で、薬局との関係もしっかりと作っていきたいと考えている。院内処方、院外処方をどちらかだけやる、というようなことでは考えていない。話ができる内容としては、これが限界と思う。（医療法人純正会）</p>
18	議題1	<p>岐阜県薬剤師会としては、やはり継続でお願いする。要望となってしまうかもしれないが、やはり院内処方に戻すとすると岐阜県薬剤師会としては賛成できかねるので、今までどおりやっていただきたい。</p>	
19	議題1	<p>(院内処方、院外処方について)最終的に医療法人純正会の判断になるということで、中津川市としては判断しないのか。</p>	はい。(中津川市)

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
20	議題1	<p>坂下診療所が国民健康保険の施設だということを忘れてはいけないと思う。なかなかへき地では医療がないということで出来たのが、国民健康保険の診療施設。医者は行きたがらないが、やはり日本の医療を支えているのは、地域の国民健康保険の診療所あるいは病院。住民の方も一緒に取り組んで、坂下病院はどんどん大きくなってきた。中津川市と合併しても、決して経営はそんなに悪くなかった。ただ、私が定年退職した時にスタッフがだいたい辞めてしまった。その後なかなか新しい医師も来なくなり、診療所になってしまった。</p> <p>一番悲しいのは、診療所のすぐ横でサイレンが鳴っても、患者を見てあげられない。加えて地域の方々は、独居の高齢者が多い。大変な思いをして診療所に通っている。あるいは、入院させて欲しいという患者に対し、今ここでは入院できないと伝えなければならない。非常に悲しい思いをした。そういう中で何とかしたい、住民の方々も何とかして欲しいということで、坂下病院が坂下診療所になったときに、坂下病院を守る会というのができ、署名や、反対運動が起きた。まだそれが続いている。私の手元に400名の方々の意見が寄せられてきている。何とか地域の医療を守ってくれ、入院のできるところが欲しい、という本当に切実なお願い。高齢化して過疎になってきたからいらぬかという、決してそうではない。逆に言えば医療があれば、住民の方々が安心してそこで生きられるということで、そういう地域と一緒に作っていくことによって、地域が発展していくと思う。ただ残念なことに、医者がどんどん辞めていき、今、常勤はただ1人。このままでいくと、多分坂下診療所もダメになってしまう。その中でどうやって医療をやっていくんだと。何とか救急の時に受けられる、そういう医療ができないか、と考えていたところ、医療法人純正会が手を挙げてくれた。私自身は、非常にうれしいと思っている。ただ、経営が非常に難しい問題である。純正会の考え方だが、おそらくこの提示されている病床数は、経営のことを考えてぎりぎりのところで提案されたのだろうと理解している。そこを皆様も考えていただき、なんとか地域の医療を守っていただければと思う。中津川市民病院の空いてる病床と、坂下病院の使われていない19床と、あと13床のご理解をいただければ、それが可能となる。しかも中津川市が10億の負担をしている。13床を認めていただければ、中津川市は10億の負担を他へ回すことができる。地域医療が確保でき、市の財政もよくなる。あとは、経営に関して純正会に本当に頑張ってもらいたければならないと思うが。私ももちろん協力するが、ぜひご理解いただければ。（坂下診療所）</p>	

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
21	議題1	<p>医療というのは、国民のためのセーフティーネットで、本来は赤字で担っていくものである。それを行政が放棄すれば、セーフティーネットが無くなり、大変なことが起こる。セーフティーネットとしての赤字を、中津川市としてはどのぐらいまで負担するか、そう判断いただければいい。銀行がお金の計算だけで儲からないところはやらない、という問題とは全く違う。もう一つ医療は、下駄履きで行ける範囲に患者は行く。救急は、重症度によって、遠くまで行くか、近くで済みますか、というのがあり、大半は、近くの病院での治療可能なことが多い。坂下で、軽い急性期、2、3日預かって済むということなら、坂下の中で何とかしていくそういう方法を考えればよい。そういう役割はできるので、医療法人純正会の考えているところは、それほど間違っているとは思わない。思わないが、医者がまずこないだろう。看護師もどうするのか。そういうことから考えると、上手くいかないだろうと思う。そういうことを考えた上で計画を立てないといけない。中津川市としては、セーフティーネットだからしょうがない、という部分をどこまで認められるか。それを全部民間にお願いし、知らないってということになると、それは行政としてすべき態度ではないと思うし、悲しいことだと思う。</p>	
22	議題1	<p>先ほどの発言（No4）について、一部修正をさせていただきたい。調整会議で質問をしないようにと言われたのは事実だが、この会議の直前に、医療法人純正会に質問ができなかったので、質問しても良いかと聞いたところ病院事業部からは、質問を許可したわけではない、という返事だった。（中津川市民病院）</p>	
23	議題1	<p>この会を潰すような発言だと思う。中津川市として考えないといけない。いくら議論して喧嘩してもいい。喧嘩した上で、どうしようとみんなで一緒に考えるという真摯な態度が必要。上から目線で、そのような言い方はやめて欲しい。</p>	

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
24	議題1	<p>いろいろ議論聞いていると、重要なのは、中津川市の問題であるということだと思う。中津川市が、設立者の市と運営者の中津川市民病院がどういう関係で、どういう話し合いをしているか、決まっていないのではないかと思う。その決まっていないことをこういう会議に出してくるということ自体、ちょっと筋違いだと思う。</p> <p>先ほどもあったが、要するに市の問題で、坂下と中津川市民病院の問題、病床をどういうふうに割り振るのかなど、そういうことは十分中津川市でよく話し合っていて欲しい。その上でこういうような会議に出してくる。それはいいが、そこがまだ詰まっていなくて、どうしようかって決めていないのに、13床増やすとか、何床増やすとか、そういうような議論ははっきり言って筋違いなので、ぜひこういう会議では、そういうことはやめていただきたい。もうちょっとわかりやすく話をしたいと思う。</p> <p>その上で考えれば、今回の焦点というのはその13床を増やすかどうか、という問題になると思うが、ペンディングして、しっかり中津川市と中津川市民病院の関係というものが決まって、そこで十分に話し合いをしてから、もう1回臨んで欲しいと思う。1時間以上話しているが、ほとんど無駄である。</p> <p>皆さんのこういう貴重な時間、無駄に使っているようなことなので、今後はやめて欲しいと思う。よく考えていただきたいと思う。</p>	<p>中津川市としては、中津川市民病院長、中津川市長、そして病院事業部も含めた内部の協議が終わっており、今日のような結果となっている。ここは行き違いがあるという感じをしている。訂正をさせていただきます。（中津川市）</p>
25	議題1	<p>中津川市として、きちっと意思統一をされて調整会議に提示されているものだという発言と伺ったが、なかなか会議の状況を見ると、必ずしもそうなのか、というところの疑問が払拭できないという雰囲気なのではないか。そのうえでどうするか、ということを考えていかなければならない。（事務局）</p>	

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
26	議題1	<p>そもそもだが、調整会議で協議してください、と県から言われた内容としては、病床は付け替えではない、とにかく必要な数をエビデンスとして提出をし、それを地域としてご審議いただき、必要な病床数が合理的かどうか、ということをお願いいただく場だと。それから地域医療構想のもともとの議論は、急性期病床をいかに不足する機能に転換できないか、ということをお願いいただくという場だと伺っている。あくまで中津川市としては、今後、急性期医療をある程度中心にしっかりやっていく。今後、やはり高齢の方も増えていくというところで、回復期慢性期を中津川市民病院で十分やっていくことがなかなか難しくなるので、そこを坂下という地で、場所を有効活用しながら、城山病院様としっかりと協力していただいて、広く長く、中津川市、それからこの東濃地域の回復期慢性期を支えていってくださいと、そのようなことを市長からも、病院事業部からも言われている。何床引く何床が、増えている、増えてないというところで、数合わせのように、何床減らせば何床増やしていい、というような話ではないというところを、県の医療整備課の方からは言われている。そういったところで必要な病床数と思われる数を今回試算をさせていただき、その結果として76ということになった。中津川市民病院の休床44床を移さないと駄目、44床と19床を足して63床以内でないと認めない、ということをおからは伺っていないので、そういったところが中津川市としても、言葉が多分困っているところだと思う。そういったところで委員の先生方とも少し、いろいろ噛み合わなくなってしまっているところも感じる。 (医療法人純正会)</p>	
27	議題1	<p>この調整会議の趣旨は十分理解してるつもりで臨んでるわけだが、中津川市長というのは、選挙で選ばれた方である。</p> <p>この坂下病院問題は、以前、もう潰したらどうだという意見も当然中にはあった。しかし、現在においても、この地域で困ってる方がいるということで医療を残していきたい。さらには、できれば病院としての機能も持ちたいという市長の方針の中で、今回、このような形で提案をさせてもらっている。</p> <p>先ほど中津川市として意見がまとまっていないのではないかと話もあったが、市長としても、市民病院長と直接2回3回、面談されている。医療法人純正会とも面談されている中で、市としての方針は先ほど申したように、市の中としては固まっているという認識である。先ほど市民病院長が言われた質問の内容については、詳細を把握していないが、中津川市の政策の足を引っ張る、反対するというような趣旨での質問ではないというふうに考えている。市とすると、同じ一枚岩でこの会議に臨みたい中で、質問というのは事前に解決しておくべきではないか、という判断で、あのような表現だったが、都合が悪くなるような質問というふうには理解していない。中津川市としての考え方は、市長を中心とした方針の中で決定している。その方針に基づいてこのような提案をせしめていただいたということをご理解いただければ。 (中津川市)</p>	

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
28	議題1	<p>中津川市が非常に強い明確な意思を持っていることは、前回会議からお聞きして、理解をしている。</p> <p>ただ、そのために、地域全体の、今現在、一定の均衡状態が保たれてる医療の状況、それが不均衡になる可能性が相当数あるということについて、中津川市ではなく、周りの医療関係者がそれに対してどうなのか、という意見を申し上げるのがこの場だと思う。先ほど話があったように、中津川市の事務方の意見と直接医療携わってる方の意見の方向性が、違っているのか、違っていないのか、微妙なニュアンス的なところはどうか、そのあたりが非常に不透明で、なかなかこれ以上話が進まないのではないか、というそんな印象を持つ。</p>	
29	議題1	<p>中津川市として、中津川市民病院の運営も含めた今後についての意思統一がされているとは感じない。</p> <p>まとめていないのにこの調整会議に持ってくるということは、2回目のこの会議の時間を、随分無駄にされている。先ほど中津川市は、市長が、と言われたが、首長が誰であろうと、どういう医療がいいのか、ということ話し合う場であり、市長の意見は関係ない。</p> <p>とにかく今後どうしていくか、ということについて、正直なまとまった意見として出していただきたい。前回、追加資料というのが来た。表のところの日付が令和3年。何故そんな2年前の資料が出てくるのだと。過去の話をして意味がない。この場では、首長がどう考えていようが関係ない。中津川市民病院長もこの会議の委員であり、この会で何を発言しようと、それを制約するものではないと思う。それはもうこの会自体が成立しなくなる。皆さん忌憚のない意見を言っている訳である。公式の発言として、受け取っていただきたいと思う。</p>	
30	議題1	<p>大変揉めに揉めている。本来何を議論すべきところなのか、というところがちょっとわからない。本来しなければならないことをせずに、中津川市が発言を止めたことに端を発している。県庁とも議論していただいた上でこの会をどうするかという、そのあたりをはっきりしていただかないといけないと思うし、皆さん非常にフラストレーションが溜まっただけである。今後はやめてほしいと思う。市長がどういう方だとか、市長の方針がこうだからというのではなく、この地域の医療をどうするかという、真摯な考えからスタートしてこうすべきなのではないか、というのがこの場での意見になる訳である。中津川市長がどう考えているとか、そういう問題とは少し違うように思う。</p>	<p>地域包括ケアを推進していく中で一番肝心なことは、地域の首長と、医療の担当者が車の両輪のように動かなければ、いい地域包括ケアはできないということ。国民健康保険の診療施設の考え方である。市長の考え方が関係ないということではなく、市長の考え方も大きなウエイト占めていると思う。（坂下診療所）</p>
31	議題1	<p>中津川市民病院も中津川市も、それから医療法人純正会も、本当にこのまま進んで良いかどうかを、もうちょっと本音で話し合っていたら、意見統一していただけたらと思う。強引にやってみようと、地元の医師会と亀裂が走り、病院経営が成り立たないのは明白な事であり、それが結果的には中津川市の大きな負担になり、最終的には市民が困ることになる訳である。何のための医療か、つまり、金もうけの医療でないことを認識していただいた上で、議論を進めていただけたらと思う。</p>	